



助けあい 支えあいで 縁結び

あいあいねっと通信

8月

暑中見舞い申し上げます。

7月6日に西日本を襲った豪雨災害では、広範囲に亘り大規模な水害や土砂崩れなどに見舞われました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。あいあいねっとのパートナーシップ団体・企業にも被害がありました。通常の活動ができない中、被災した人々の居場所や食べることの支援、ボランティアへの支援をと被災しながらも活動を開始された団体もあり、心強く思いながら、私たちにもできることはと緊急食糧支援と義援金の募集を開始しました。



7月末までに、江崎グリコ(株)様、シチズン時計(株)様をはじめ、農家、個人の方から食品1784.6Kgと義援金43000円が集まりました。食品は、安芸区、安佐北区、江田島市などの社会福祉協議会やボランティアセンター、支援団体へ提供させていただきました。

提供いただいた皆様、本当にありがとうございました。被災地域の復旧・復興には、まだまだ時間がかかります。皆様の温かいご支援をお願いいたします。



H30、2月より、「社会福祉法人正仁会あいあいねっと」となり、新たなスタートを切りました。広くて真新しい事務所には、ゆったりとしたコミュニティスペース「まめnan

広場」と業務用厨房機器が備わった「まめnanキッチン」が完備されました。楽しいイベントや集会所としてたくさんの地域の方でにぎわっています。7月31日(火)からは、なごみオレンジ(認知症カフェ)も始まり、楽しくたくなるイベントを企画し、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に取り組んで参ります。

フードバンク活動には、昨年以上に多くの食品が寄せられています。一方でこども食堂を中心に、食品を活用する団体も急増しています。同時に、食品ロス削減料理教室や講演会も開催しています。3月には、広島消費者協会と共同でサルベージ料理教室を行い、「美味しかった、勉強になった、また作りたい」などの感想が聞かれました。

新体制となり、「フードバンク活動」「食品ロス削減活動」「地域づくり健康づくり活動」を3本柱に、より一層地域の人びとに寄り添った活動を行なっていきたいと考えています。今まで同様、ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【今後のスケジュール】

- ◆西日本豪雨災害緊急食糧支援中！
詳しくは、3ページに…。
- ◆お盆休み
8月11日(土)～16日(木)
- ◆フリーマーケット開催
9月8日(土) 10:00～15:00
- ◆10月14日(日) 可部のまちめぐり
- ★日々の活動は、facebookで公開中★

食べ物は食べるためにある！ “もったいない”のない社会を創る！



フードバンク活動

食品ロス削減活動

健康づくり活動・まちづくり活動

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなった食品(食品ロス)を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもつに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21
 ■TEL：082-819-3023
 ■FAX：082-815-6666
 ■Email：aiainet@nagominosato.jp
 ■web：http://www.aiainet.org/



社会福祉法人 正仁会



みんなで減らそう 食品ロス！！

あいあいねっと 代表 原田 佳子

あいあいねっとが、特定非営利活動法人から社会福祉法人正仁会となり初めての通信です。社会福祉法人正仁会には介護支援専門員、生活相談員、ヘルパーなど福祉の専門家がたくさんいます。多くの経験と知識の集積があります。新生あいあいねっとは、このような力強い専門家の協力を得ることにより、よりミッション遂行に全力を傾注できると今まで以上に責任を感じています。引き続き、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、今や、食品ロス削減はグローバルな課題となり、わが国も世界に率先してこの課題の解決に全力を尽くすと表明いたしました。

2016年の農林水産省の統計によると、わが国の食品ロスは、約640万トンあり、半分近くが家庭から出ています。子供の頃からの食品ロスに関する意識付けが必要だと痛感する日々です。お店に行きお金を払えば、簡単に食料を手に入れることができますが、食べ物がお金で換算できる商品になっていることが、食品ロスを発生させる大きな要因の一つだと考えています。食べ物に対する尊厳、食べ物は自然の恵みである・・・という意識が希薄しているのではないのでしょうか！食品ロスを「もったいない」と表現すると、なぜ食品ロスが発生するのか・・・が見えてきません。社会の構造的な仕組みの中から再生産されるからです。しかし、家庭における食品ロスは、やはり「もったいない」と表現するのが適切だと思います。最近、サルベージ料理という言葉を聞きます。ほとんど残すことなく食材を使い切ります。食料自給率（カロリーベースで38%）が極めて低い今の日本の現状をしっかりと認識し、日々の食生活に真摯に向き合いたいものです。



食べる “わ”

この度の「平成30年西日本豪雨災害」で被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。また、復旧支援にご協力いただいているボランティアの方やサポート企業様には、この場を借りて感謝申し上げます。

約半年前の平成30年2月、“あいあいねっと”は、これまでとは少し違う形に変化いたしました。これまでの10年（前身「食で地域活性を図る研究会」'04年9月発足）、“あいあいねっと”は『もったいない食材を撲滅し、地球環境の好循環に寄与すること』を掲げて原田佳子理事長を筆頭にNPO法人（'08年～）として「フードバンク」活動をしてきました。たくさんのボランティアの方達に支えられ、強力なパートナーシップ団体の援助や公的な助成もいただきながらの歩みでした。『にのみやグループ』もこの活動を人的・資金的にサポートしてきました。それでも潤沢な資金繰りの運営とは行きづらいのが法人の弱みでもありました。

この度、可部三丁目（上市）に『にのみやグループ』の社会福祉法人 正仁会が福祉施設を立ち上げるのと同時にコミュニティー広場を創設し、“あいあいねっと”を傘下に事務所を構えることによって活動資金に憂いを残さず、活動を継続させていくこととしました。社会福祉法人は支援が必要な方への自立支援と共に地域貢献の使命も帯びています。“あいあいねっと”の代表は原田佳子、活動趣旨、内容についてはこれまで通りですが、むしろ、社会福祉法人とのコラボレーションによってこれまで以上に動きが活性化できるのではないかとも思っています。“あいあいねっと”の活動に対してより一層のご理解とご協力をいただければ幸いに存じます。

改めて、今後ともよろしくようお願い申し上げます。

社会福祉法人 正仁会 業務執行理事 松林 克典



パートナーさんのご紹介

【父子家庭サポートネット・ひろしま】さんは、「いつも子どもの笑顔が絶えない父子家庭を！」を目標に、子どもとシングルファザーの心身両面の負担が軽くなるような取り組みをされています。父子家庭は、母子家庭に比べ平均収入は高めではあるものの、仕事と家庭の両立で仕事場と家庭の往復となり、人とのつながりが薄れ、支援制度を活用するまでに至らず、一人で頑張っているシングルファザーが多いのが現状です。父子家庭の孤立を防ぎ、悩み相談を行う「父子サポカフェ（学習会）」、料理の上達と楽しいひと時を過ごすための「料理教室」や「バーベキュー会」などをされています。「相談連絡センター」では、父子家庭OBが窓口となり、面談や電話、メールで相談を受け付けており、行政や関係機関と連携を図りながら、父子家庭のセーフティーネットの拡充とサポートを行っています。



ごはん
南瓜とひき肉の煮物
人参とツナの金平
さつま芋グラッセ
ゼリー

あいあいねっとに届く食材を、「父子家庭サポートネット・ひろしま」さんでは、毎月2回程度父子家庭への食糧支援と料理教室の材料として活用されています。料理教室のメニューは、広島女学院大学の学生が考え、一緒に調理されます。小学生のお子さんもしっかりお料理されていました。優しい笑顔があらわれる料理教室でした。あいあいねっとに提供される食品が、このような形で楽しく美味しく食べられているのを見て、うれしく思います！



西日本豪雨緊急食糧支援&義援金募集

平成30年7月6日の豪雨は、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。この災害で被災された方々を支援するため、「あいあいねっと」では、「緊急食糧支援」と「義援金募集」を以下の通り受け付けています。企業、個人の方々からの、温かいご支援を宜しくお願い致します。

「緊急食糧支援」

【食糧の募集内容】水、その他飲料、カップ麺など常温保存できる食品全般、米（アルファ米：加熱不要なお米）、レトルト食品、缶詰、瓶詰め、インスタント食品、粉ミルク、ベビーフード、お菓子など※食品は賞味期限が1か月以上のものとさせていただきます。

【支援食糧受付・お問い合わせ先】社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと 事務所 電話：082-819-3023（火・木・金の10時～15時）※支援食糧は、直接、持ってきてくださるか、宅配便等のご利用をお願い申し上げます。直接食糧をもってきてくださる方は、火・木・金曜日の10時～15時までは「あいあいねっと」、その他の時間帯は同じ建物にある、「グループホームなごみの郷可部」へご持参ください。

「義援金募集」

【振込先】◆広島信用金庫 可部支店 ◆名義：社会福祉法人正仁会フードバンクあいあいねっと代表原田佳子 ◆口座番号：0622948

※集まった食料や義援金の募集期間や支援情報などについては、Facebook やHP で随時ご報告いたします。



戸棚や冷蔵庫に眠っている食材を活用した「サルベージ」レシピ!!



☆さばの味噌煮缶と豆腐のナゲット☆

【材料】4人前

さばの味噌煮缶詰 1 缶(煮汁は適量)、木綿豆腐 300g

片栗粉大さじ 2、揚げ油適量、ミニトマト・レタス適量

【作り方】

- 1、木綿豆腐にキッチンペーパーを巻いて重しをのせ、電子レンジで加熱し、水をしっかり切る。
- 2、さばの味噌煮缶は、さばと煮汁に分けておく。
- 3、ボールに豆腐、さばを加え、混ぜ合わせる。しっかり混ざったら、片栗粉を加えて混ぜる。
- 4、タネの固さを見ながら、煮汁を加える。
- 5、フライパンに5ミリ程度の油を温め、4を丸めながら加える。こんがりしたら裏返し、弱火から中火で揚げ焼きにする。油をしっかり切る。お皿にグリーンリーフとトマト、ナゲットを飾る。

〈ポイント〉

❁豆腐の水はしっかりと切っておきます。煮汁には栄養素が豊富ですが、加えすぎると形が崩れやすく油が跳ねやすくなるので気を付けてください。小さめに整形し、さっと揚げるときれいに出来上がります。備蓄食品や戸棚に眠っている缶詰と使い切りにくい豆腐を使ったナゲットです。お豆腐の量や缶詰の量はある程度調整できます。また、サバの味噌煮だけでなく、水煮缶やツナ缶などいろんなバリエーションでも応用できます。ケチャップやポン酢などをつけて食べるのもさっぱりとしておすすめです！



私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社◆アラハタ株式会社
- ◆有限会社池田自動車◆株式会社エコーロードフルール◆江崎グリコ株式会社
- ◆株式会社 SKY コーポレーション◆株式会社エムズホーム◆株式会社 M&K
- ◆株式会社 M&C コラボレイション◆おおたけ株式会社◆株式会社沖野建築設計
- ◆有限会社オフィスシン◆キュービー株式会社広島支店◆株式会社九食◆医療法人社団恵正会
- ◆有限会社健康宅配ネット◆カルビー株式会社◆有限会社佐藤運送◆有限会社山菜木村
- ◆シチズン時計株式会社◆スターライト工業株式会社◆生活協同組合ひろしま
- ◆株式会社多山文具◆チチヤス株式会社◆中国電力株式会社◆中電環境テクノス株式会社
- ◆株式会社トーホーフードサービス◆株式会社ナリコマエンタープライズ◆有限会社ニシオカ
- ◆ノベルサウンズ◆広島海苔株式会社◆広島駅弁当株式会社◆株式会社フォーリーフ
- ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆マルコメ株式会社◆マックスバリュ西日本株式会社
- ◆株式会社マルバヤシ◆株式会社未癸◆ミック株式会社◆美作大学食品ロス削減サークル
- ◆株式会社ミライト◆有限会社エイコー商事◆山崎製パン株式会社広島工場
- ◆ゆかり屋本舗株式会社◆ワンダフルホーム株式会社

みなさま、いつもありがとうございます！

【編集後記】この春から息子は、幼稚園。「多くの命と皆様のおかげによりこのごちそうを恵まれました。深くご恩を喜びありがたくいただきます。」「尊いお恵みを美味しくいただき益々ご恩報謝に努めます。おかげでごちそうさまでした。」たどたどしい口ぶりで一生懸命に唱えます。(M)